

**JASDAQ**

平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 水上 康
電話 052-823-8551

業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）発生に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）におきまして、営業外費用（為替差損）の計上を行うことと致しましたので、お知らせいたします。また、平成 28 年 5 月 16 日に公表しました平成 29 年 3 月期の通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正について

(1) 平成29年3月期の連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,000	280	180	80	5.94
今回修正予想 (B)	22,000	280	0	△200	△14.84
増減額 (B - A)	0	0	△180	△280	—
増減率 (%)	0.0	0.0	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	21,115	△39	△118	△278	△20.69

(2) 修正の理由

売上高及び営業利益は、ほぼ想定通りで推移しております。一方で為替相場が円高になったことで平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において為替差損 235 百万円を計上しました。

また、中国にある子会社東莞旭進光電有限公司におきまして事業構造改革の一環として、不採算事業から撤退し、一般成形事業へ選択と集中を行いました。これにより現地従業員に対する経済補償金の支払等が発生し、特別損失 44 百万円を計上しました。

以上の理由により、通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

なお配当予想につきましては、1 株当たり年間配当金 2 円とする期初発表予想に変更はございません。

2. 営業外費用（為替差損）の計上について

為替相場の変動（円高）の影響により、平成29年3月期第2四半期連結累計期間において為替差損235百万円を営業外費用に計上いたしました。

なお、上記の金額は、平成29年3月期第2四半期末時点の為替相場による為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上